

平成26年度東京都教育委員会社会教育指導者研修「学校教育支援施策研修」(第3回)

第3回 教育支援コーディネーター・ミーティング(報告)

『キャリア教育』の視点で外部人材活用を考える ～中学校の事例から～

各教育委員会や各学校において、東京都においては中学生の「職場体験」が平成17年度から実施されるなど、ここ約10年、勤労観・職業観の育成、「キャリア教育」の推進に向け、様々に取り組まれてきています。

この回は、大田区を中心に企業等各関係機関へ働きかけ、ネットワークを構築しつつ、「キャリア教育」への理解促進を図るとともに、主として中学生の職場体験に向けて、その具体化の支援を促してきた取組事例の報告を踏まえて、これからの「キャリア教育」の推進に向けた、地域の実態に合わせた効果的な支援の可能性について考えました。

前半は事例発表を聞き、後半は事例を踏まえて中学校・小学校ごとにグループで意見交換をしました。

■開催日時、開催場所

平成27年2月5日(木) 午後2時から午後4時半まで
東京都教職員研修センター 6階 605研修室(1)(2)

■対象

- ◆区市町村教育委員会学校支援ボランティア推進協議会事業担当者
- ◆東京都及び区市町村教育委員会職員(生涯学習・社会教育所管課及び指導室等)等
- ◆教育支援コーディネーター

(学校支援コーディネーター、地域コーディネーター等「学校支援ボランティア推進協議会事業」における小・中学校コーディネーター)

■参加者

港区(4)、文京区(2)、江東区(3)、品川区(2)、大田区(9)、中野区(1)、杉並区(6)、北区(4)板橋区(6)、練馬区(1)、八王子市(1)、町田市(1)、日野市(1)、多摩市(1) 計42人

■プログラム内容

□事例報告 「キャリア教育」の実現に向けての学校外ネットワークと学校支援の仕組み

事例報告①

報告者：大塚洋さん(キャリア教育推進協議会21 代表、元 大田区立御園中学校 校長)

そもそも「キャリア教育」とは何か、また中学校において「職場体験」が始まった経緯などに触れながら、大田区立御園中学校で「職場体験」を具体化した際のさまざまな「悩み」を、どのように地域の方たちと対話を積み上げて解決したのか、地域の方々と共につくることの大切さについて、お話いただきました。



事例報告②

報告者：細川博喜さん(大田区立御園中学校 みその学校サポート事務局長)

御園中学校では毎年100社近い企業等の職場体験先に2年生約160名の生徒が体験学習を行っています。この取組を支え続けている「学校支援地域本部」である「みその学校サポート」の成り立ちや、例年PTAOBの協力を得ながら、事業所の開拓や調整等を担う、その実際と具体的なノウハウをご紹介いただきました。



参加者のプログラム全体を通じた感想より

- ・大塚先生のお話は、とてもわかりやすく、キャリア教育についての理解が深まりました。また、まとめの際の小中連携、学校の先生との交流の工夫も参考にしたいと思いました。
- ・キャリア教育=職場体験がすべてではないことがよくわかった。
- ・中学校の事例がわかってよかったです。参考にさせていただきます。キャリア教育の在り方もよくわかりました。(人が人として自立するためということ)
- ・御園中学校における職場体験推進の取組がよくわかった。
- ・職場体験に限らず、キャリア教育として、学校と支援本部がどう関わっていくか、改めて考えたい。
- ・学校、地域、企業が関わった協議会で作成された「職場体験ガイダンスの作成」とあったが、ぜひその資料※は見てみたい。

【※参考】大田区教育委員会「中学生職場体験ガイダンス」

http://www.city.ota.tokyo.jp/kyouiku/gakukyou/syokuba_taikenn_gaidannsu.html

11の職場・業種ごとに、中学生を受け入れる事業者にとっての「ガイダンス」が
改変可能なファイルの形式で公開されており、ダウンロードができます。